
擬似的未来観測

清瀬 柚李

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

擬似的未来観測

【著者名】

Nゾード

【あらすじ】

清瀬 柚季

殺氣立つ市丸と日番屋。

乱菊が止めるまもなく斬魂刀はぶつかりあう。

それは藍染反逆の前の話

(前書き)

こんにちは
まちへせいろざほんは

10月は好きな季節です

10月の初っぱながらB-EACH、ギャン乱風味でお洒落しまさ
（^ ^）

リーコーナルした「小説家になろう」でも、清瀬柚李をよひじくお願
いします

腹部に重い質量。

殺気にまみれた翡翠を見下ろす。

ああ、相変わらず眉間にしわ寄せて、可憐い無いわあ。

漏れた息から血の臭いがした。

神槍を横に振るつてそのこつそ憎たらしい程綺麗な神童はんの顔を狙う。

しゃがみこんで避けて、後ろに飛び距離を取る。

やっぱ伊達に隊長やあらへんなあ、と考えながら、後ろに倒れかけた身体を支えるべくたたりを踏む。

「…へえ。案外しぶといな」

今のは入った筈だぜ?

挑発的に笑う田畠谷はんの問いには答えない。

口角を上げてみる。

ちょっととした虚勢になればいい。

「…なんや、一応役不足では、無いみたいやねえ。十番隊隊長は

ん?」

一応、を強調すれば薄い笑いは搔き消え、靈圧は急上昇。

ほり、まだまだアンタは若い。

こんな簡単な挑発に乗つてくる。

「……、たい、ちよ……ツ」

さつき自分で吹っ飛ばした乱菊をちらりと視界の中に映して、せせら笑う。

「乱菊。お前はそこそこおり。……危ないで？ 日番谷隊長がキレはつたわ」

隊長たるもの。常に冷静な判断で全体を見るべきやね。

「……市丸……」

「なんや？」

「お前は、俺が、倒す。

……松本」

「……」

「手え出すんじやねえ」

「……、はい」

息苦しい程、日番谷ほんの靈圧が重い。

とじめ刺す氣や。

回りが見えどらん。

乱菊も巻き込むかもしれんな。

ま、それに気づいた日番谷ほんを眺めるのもまた一福。
おもういかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとの妹はんと並べるんぢやう?
透き通つて、きれい。

ああ、でもあかん。

厳ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かつて真つ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ…！」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと氣まずくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。

ボクが認めた、エエ女や。

だから泣かんといで。

乱菊。

ボクは大丈夫や。…多分。

ため息は、血の臭いがした。

「…ギン。あんたつてそんなに馬鹿だつた？」

遙か彼方。だいぶ大きな木に叩き付けられて身体中から悲鳴が聞こえそう。

…たすけてー。痛いよー…。ほひ。

「アホか」

「酷いわあ、怪我人にそれはあかんて」

「てか、隊長が「どつちや?」日番谷隊長に決まつてゐでしょ。アンタはギンよギン。始解なんてするからですよー。もつ、何ムキになつてるんですか?」

お、乱菊が珍しくオカソミたいや。

でもな、乱菊。

ボク結構重傷やの。

頭に響くわあ。

「つつせー。だいたいなあ、『トイツガ』『カツカツカツカツ』煩えンだよ」

「言つてへんよ

「田が言つてるんだよ田が!」…はあ」

…あかん。ぐらぐらしきねつた。

色しか分からん。

イヅルまだやろか。卯ノ花隊長捕まらへんのやろか。

「…? ギン?」

ちゅうと、ギン? しつかりしなさこよ、ギン。起きてる? 生きてる?

?

「オイ、市丸…吉良、じゅうちだ! …卯ノ花隊長。すみません、忙しいのに」

あー…。あかん。

日番谷はんのせいや。

ボク悪くあらへん。

ぜーんぶ日番谷はんのせいやあ。

「ギン! ギーン!」

乱菊、揺らすな。飛んでまつ。

…最後に映つた乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興。
おもういかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとの妹はんと並べるんぢやない?

透き通つて、きれい。

ああ、でもあかん。

厳ついわ。

田番谷はんが氷輪丸を振るひ。

僕に向かつて真つ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ…！」

…乱菊。

お前はエエ女やな。

僕の心配なんかして。

隊長はんと氣まずくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、コイツが『ちつこ
ちつこ』『煩えンだよ』

「言つてへんよ」田が言つてるんだよ田が！…はあ

…あかん。ぐらぐらじてきおつた。

色しか分からん。

イヅルまだやうか。卯ノ花隊長捕まらへんのやうか。

「…？ギン？

ちよつと、ギン？しつかりしなさこよ、ギン。起きてる？生きてる

？」

「オイ、市丸…吉良、じつちだー…卯ノ花隊長。すみません、忙し
いのに」

あー…。あかん。

田番谷はんのせいや。

ボク悪くあらへん。

ゼーんぶ日番谷はんのせいやあ。

「ギンー・ギーンー！」

乱菊、揺らすな。飛んでまつ。

…最後に映つた乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興。
おもういかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるとけやつ?
透き通つて、きれい。

ああ、でもあかん。

厳ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るつ。

僕に向かつて真つ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ…！」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと気まずくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、「コイツが『ちつこい』『ちつこい』『煩えンだよ』『ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興』おもろいかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。
彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるんぢやない？
透き通って、きれい。

ああ、でもあかん。

厳ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かつて真っ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ…逃げなさい、ギンシ…」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと氣まずくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、「トイシガ『ちりこ
ちつじ』『頬えンだよ』

「言つてへんよ」「田が言つてるんだよ田が…」…はあ

…あかん。ぐいぐいひいておひつた。

色しか分からん。

イヅルまだやるか。卯ノ花隊長捕まらへんのやうか。

「…?ギン?

ちゅうと、ギン?しつかりしなたこよ、ギン。起きてる?生きてる
?」

「オイ、市丸…吉良、いぢりだ…卯ノ花隊長。すみません、忙し
いのに」

あー…。あかん。

田番谷さんせいや。

ボク悪くあらへん。

ゼーんぶ田番谷さんせいやあ。

「ギン…ギーン…」

乱菊、揺りすな。飛んでまつ。

…最後に映つた乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1334i/>

擬似的未来観測

2010年10月9日15時34分発行